２０１８年　９月　１６日　≪ 敬 老 祝 福 礼 拝 ≫

主　日　礼　拝

	①８時半	②10 時半	③19 時
司　会	①石井師	②白川　達男兄	③石井師
奏　楽			
祈　祷	①石井師	②石井　秀人兄	③石井師
賛　美	讃美歌３１２番 ＆ ～山を見ても感謝～		
詩篇２３篇			
聖　書	①コリント人への第二の手紙１章３～７節		
	②ローマ人への手紙５章１～５節		
特別賛美	鷲沢姉・高山姉・佐久間姉（大和の礼拝映像から）		
メッセージ	①「私は親切な人が好きです」大川従道牧師		
	②「困難を喜び祝う人生」石井　潤牧師		
献　金	聖歌２２９番「アメイジング・グレイス」		
祝　祷			〔献金当番：和田姉・青木姉〕
お知らせ			【司会者】
賛　美	～見つめ続けます～		

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

１．本日は「敬老祝福礼拝＆祝賀会」です。共に心よりお祝い致しましょう！
　本日のゲストの皆様、また、講師の森脇弘隆先生、めぐみ姉を歓迎致します！

２．今週の祈祷会：☆早天祈祷会/月曜朝６時。★木曜祈祷会/午前 10 時半、
　守部姉(中国伝道)。★夜７時半(大和祈祷会映像)。☆準備祈祷会/土曜夜８時。

３．金曜夕方、いのちのことば社の特別販売車が来ます。夕方５～６時頃迄。

４．来週の日曜午後は、聖歌隊の練習が行われます(礼拝では有志のご奉仕です)。

９/24(月):バイブルスタディ(小山姉宅)　30(日):「秋の召天者記念礼拝」

一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔 9/ 16～ /23〕

Date	日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	箴言 30･31章		伝道の書 18章		4－6章		7－9章		10－12章		雅歌 1－3章		4･5章		6－8章	
新約	2コリント 8章		9章		10章		11:1－15		11:16－33		12章		13章		ガラテヤ 1章	
チェック	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

「困難を喜び祝う人生」

～人生の難局を乗り越える秘訣～

「私たちはさらに、様々な問題や困難に直面した時でさえ喜ぶことができる。それは忍耐を学ぶのに役立つからだ。/And we even celebrate the troubles we suffer. Why? Because we know that suffering teaches us to be courageous in the face of difficulties. 」

ローマ人への手紙５章３節［アライブ訳/ERV］

秋の長雨を通して一気に涼しくなってきました。梅雨の雨は春から夏へ、秋の雨は夏から秋へと季節の変わり目には雨や風が強く起こります。逆に言えば、雨や嵐が私たちを新たな季節へと導いているように感じます。私たちの人生の中で起こる嵐も、もしかしたら、私たちの人生を新しい季節へと導いているのかもしれません。

今日は敬老の祝福をお祝いする礼拝です。私たちがこの世に生を受けて以来、年を重ねていきます。その一つ一つの年を積み重ねていく度に、神さまへの感謝の思いが溢れていくようにと願います。ですから、今日は敬老の皆様をお祝いすると同時に、私たちみんなが、年を積み重ねさせてくださった神さまに感謝をお捧げする日ともさせていただければと願っています。聖書では私たちの神様を様々な言葉で表現していますが、その代表的なのはイエス様がおっしゃった「父なる神様」「お父様」です。また他に、「日の老いたる者（The Ancient of Days）」という表現があります。これは「永遠から永遠まで生きておられるお方」という意味でもあります。ですから、神さま以上にお年を召した方はおられないということから言えば、最も敬いお祝いすべきお方は、私たちの神さまご自身であるということですから、心から主なる神さまをほめたたえます！

さて、上に表記させていただいた本日の聖書の御言葉は、大伝道者パウロの有名な言葉ですが、それを英語でも表記させていただきましたが、「We even celebrate the troubles we suffer.」「私たちは私たち自身の人生で被る問題の数々でさえも、喜び祝うのだ！」という日本語に訳すことができます。「私たちがお祝いするのはただ良いことばかりではなく、どうしようもない、目をつぶっていたい出来事の数々をも、大いに祝うのだ！」という心。その心を持つことができると語っています。人生における嵐と言われる出来事は歓迎したくはありませんが、たとえ、それらが起こったとしても、それは大いなる祝福なのだと信じる心を持つことができるのです。お釈迦様は偉大な方でしたが、彼の到達した境地は、人生での悩みや問題から自力で救われることはできないという現実です。だから、諦めなさいということです。その中でどうにか生きて行きなさいと教えます。しかし、パウロがイエス・キリストによって開かれた救いの世界は、その現実から永遠に救われる道が与えられたのだと語ります。いかがでしょうか？ご一緒に手を取り合って、その永遠の救いの希望へと一歩ずつ歩んでいきませんか？